

令和7年度 学校評価
「重点目標」

学 校 教 育 目 標			中 ・ 長 期 的 目 標
教育活動を通して、個人の尊厳と協調の精神を体得させ、民主的な国家社会の形成者たる資質を培うとともに、専門教育により広く国民経済における商業諸活動の担い手としての有為な人材を育成する。			・心身ともに健全で、人間性豊かな生徒を育てる。 ・学校及び社会生活の規律を重んじる心を育てる。 ・学習習慣を確立させ、自ら学び自ら考える態度を育てる。 ・進路目標を明確にさせ、その実現に向けて粘り強く努力する姿勢を育てる。
今 年 度 の 重 点 目 標			
・基本的生活習慣の確立および、挨拶・身だしなみの徹底を図る。 ・自ら問いを立て、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育成する。 ・地域社会との連携や協働による活動を通し、探究的な学びを推進する。 ・学習活動や様々な行事等へのICTの積極的活用、および知見の共有を推進する。 ・生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめ・体罰等のない、安心安全な学校をつくる。			
部	担当	今年度の重点目標	具体的な方策
教務部	教務	円滑な学校運営の推進	・学習活動やさまざまな行事の目的・実施方法を全職員で共有し、生徒一人ひとりが主体的・協働的に学ぶ力を身につけられるよう、各部や担当者とは機能的に連携しながら学校運営を行う。生徒の安全安心及び学びの保障を第一に考え、社会的変化に応じて3F（Fast:迅速に、Fair:公平に、Fun:楽しんで）を基本に臨機応変に対応する。
			・来年度の小諸新校の開校に向け、内規や学校行事などの精査および具体化を進める。その過程での定数減や新校準備に伴う職務負担の増大を職員間でフォローできるよう、互いに寄り添い、声を掛け合い、対話できる雰囲気や機会を創り出せるよう運営する。
			・新校開校に関わる校舎改築などの工事が行われる中、学校運営や生徒の学習活動になるべく支障がないよう、事前の周知をしっかりと行うと共に、職員や生徒が行う物品の移動作業等が円滑にかつ安全に進むよう計画をする。
		広報活動の充実と生徒募集対策	・体験入学、授業公開などの場で、在校生の活躍によって、本校の活きた空気を中学生に感じてもらえるよう、計画・実施・支援する。
			・中学校訪問だけでなく、個別出張説明会を広報し、より多く出向くことで、より多くの中学生や保護者が本校に触れる機会を増やし、その中で商業の魅力や価値を発信して「伝わる」「行動させる」ような工夫をする。新校開校に向けて、学校生活を具体的にイメージ出来るような学校パンフレットや案内の作成を行う。
	PTA同窓会	PTA活動の充実	○厚生委員会 ・「PTA講演会」の企画
			○教養・生徒指導委員会 ・「朝の声掛け指導」で生徒とふれあう ・年2回発行「PTA会報」の内容充実 ・「PTA同窓会講演会」の企画
		学校に足が向くPTAづくり	・PTA講演会・総会・学年学級PTAへの参加呼びかけ ・スマイル小商店街・合唱コンクールへの参加呼びかけ ・PTA同窓会講演会への参加呼びかけ
		同窓会 学校や生徒のニーズに合った講演会の計画・実施	・より良い同窓会（PTA共催）講演会を企画する。 ・学校、生徒の要望を正確に捉え、同窓会として応えられることを行っていく。
	ICT	学習活動へのICTの積極的活用の推進	・ネットワーク環境を活かせるよう機器の導入、管理、メンテナンス等を行う。
			・GIGAスクールサポーター、職員による研修会を実施する。
			・教員、生徒の一人一台端末の運用のサポートを行う。
	生徒指導	登下校中の安全の確保	・登下校指導により交通ルールを徹底させる。 ・自転車通学者に交通安全を定期的に啓発する。 ・自らの命の大切さと他者への安全配慮を徹底する。
			・家を出る時から帰宅まで身だしなみを崩さない指導と助言を行う。
			・オフィシャルウェアとプライベートウェアの違いを理解させる。（2・3年生）
		身だしなみの確立	・TP0に即した服装を意識させる。（1年生）
			・特にに式典時の身だしなみ指導を徹底する。（全校）
			・授業時のアクセサリ類（特にピアス）について全職員で共通認識を持ち、外す指導を徹底する。

生徒指導部	人権平和	・人権意識の向上、道徳教育の推進	・全校生徒対象の人権の講演会（または映画観賞会）を実施する。 ・各教科と連携し、出身や性別、年齢等、様々な立場にある人々について、全ての人が人権を持ち平等であることを学び、自立した他者としてよりよく共生できる感性と態度を育成する。
		・主体的に平和を構築できる意欲と態度の育成	・修学旅行の事前学習や各学年行事など学年とも連携して、安心して生活できる環境（防災や平和への意識）のありがたさを認識させる。また授業などで各教科とも連携し、生徒が戦争の悲惨さや平和の大切さを継続して意識できるよう、配慮する。
		・命の大切さを理解し、差別やいじめを許さない意識と態度の育成指導	・生命の大切さや人間としての尊厳を理解し、あらゆる差別やいじめ、不正を排除し、自他を尊重できる心と行動を育成する。
	生徒相談	いじめ・悩みを抱えた生徒及び特性を持つ生徒の掌握と適切な対応・支援	・アセス、「いじめ・悩みに関するアンケート」実施
			・生徒相談委員会、学年、学級担任、保健室との連携
			・SC、SSW、巡回支援指導員の活用
	・教育相談調査票の実施と活用		
	・支援会議の計画・実施 ・支援に必要な情報提供		
	いじめ防止及び自殺防止に関する生徒、職員への研修	・本校生徒の実態に即した学年ごとの研修の実施	
		・職員への情報提供、情報共有と研修	
保健	健康の保持増進を図り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理できる資質・能力を育成する	・定期健康診断や健康相談等を通じ、自らの健康課題を把握し改善することができるよう支援する。	
		・正しい知識を持ち適切な意思決定や行動選択ができる力を養うため、保健講話等を実施する。	
進路指導部	進路指導	生徒の進路意識の熟成と自己理解の深化	・日頃から情報収集に努め、様々な経験を通して生徒が自分の生き方を考えられるような進路行事を企画する。
			・上級学校と連携した出前授業や特別講座を積極的に取り入れ、個々の生徒の成長を促す。
			・企業の雇用情勢や業務内容に注目をさせ、仕事への適性について考えさせる。
			・高大接続改革に向けて情報収集をするだけでなく、共有の場を設け、受験に対する指導体制の構築を図る。
	スタディサブリの有効活用と基礎学力の定着	・生徒への動機付けおよび意識付け、職員への情報共有を行い、より有効な活用方法を模索する。	
		・基礎学力定着のための学習計画の立案と実施	
	図書視聴覚	生徒の教養・知識の育成と学習センターとしての役割	・図書館利用の促進を図る
			・図書委員の指導
			・図書の貸し出し返却の手続き・貸し出し期限の厳守
		必要な情報を収集、選択、活用する能力育成のための情報センターとしての役割	・蔵書の配分比率に即して本を収集する
			・購入希望調査
			・図書館教諭・司書の研修会参加
		読書を楽しみ、想像力と豊かな心をはぐむ読書センターとしての役割	・広報活動を積極的に行う
			・他校との交流
	生徒会活動/各種行事等における適切な放送運営	・各種行事においては、生徒が主体的に行動できるよう日頃から機材等の取り扱いを指導する。芸術鑑賞では、生徒が進行できるようサポートする。	
		・生徒会役員および教員と連携がとれるよう、適切な助言を行う。	
・各種行事では感染症や気温などの状況により、急な変更にも柔軟に対応できるよう、日頃よりICT機材の準備に慣れさせる。			
生徒会部	生徒会	主体性、協調性を持たせ、積極的に委員会活動へ参加させる。	・委員会活動の意義と各委員会の役割を理解させ、自覚と責任をもって仕事に当たらせる。
			・受け身ではなく、自ら出来ることを考え、実行していけるような積極性と責任感を持たせる。
		各種行事に全力で取り組み、一つ一つの行事が役員だけでなく全校生徒が満足のいくものとなるよう努力する。	・各種行事については、全校生徒が「与えられて」行うのではなく、全校生徒で「作り上げて」いけるようなものとなるように工夫を促す。
	・行事の企画運営に関し、リハーサルの徹底にこだわり本番ながらの準備ができるように、適切な助言・指導を行う。		
	・新校開校に向けて、小諸商業の生徒会活動を発展的に継承し、より一層活性化することを目指して、自治の精神を育む。		
	整美	校舎内外や学校周辺地域の環境美化に取り組む。 ・ゴミの分別の徹底を図る。	・清掃用具を整備して各自が清掃活動に参加できるようにする。
・各クラスやゴミ集積所で、美化委員により呼びかけを繰り返す。			

学年	今年度の重点目標	具体的な方策
一学年	基本的生活習慣の確立をし、高校生としての自覚を持ち行動できるようにする。	・挨拶、身だしなみ、時間を守ること、提出物の期限を守ることなど日々の声掛けを通じて生活習慣の確立を促す。 ・スマートフォンの扱いや日頃の振る舞いなど、高校生として自分の行動に自覚と責任を持つことの大切さを教える。 ・職業について知り、これからの進路について考えさせる。
	学習習慣を身につけ、主体的・協働的に取り組む力を養成する。	・学習環境を整え、日々の授業に集中して取り組めるようにする。 ・グループワーク等を通じ仲間と協働して課題の設定・解決、合意形成ができるようにする。
	人権尊重の姿勢を育む。	・ソーシャルスキルトレーニングなどを実施し、他者との関わり方を学ばせる。 ・いじめ悩みアンケートや日々の生徒の様子から問題の早期発見・解決をする。 ・自身を傷つけないことはもちろん他者を尊重できる行動を身につけさせる。
二学年	毎日積み上げていく前向きな習慣 同じ目的に向かって力を合わせて行動できる集団	挨拶、清掃、身だしなみ、時間の管理、提出物の厳守等、日々の声かけを通じて生活習慣を確立する。学習空間の整頓・清美は継続して毎日行う。自由と放縦の違いを認識させ、自身の行動に責任と覚悟を持たせる。人は人で磨かれる。他者視点に立ってお互いを認め合いながら、自他が傷がつくことを恐れず、積極的にコミュニケーションがはかれるように促す。
	生徒自身が主導権を手放さない 「～してもらう」「やらされている」のような受け身マインドからの脱却 挑戦して、失敗して、立ち直るのサイクルを回し続ける	進路決定への道程において、生徒自身が覚悟を持って自己決定できるよう支援する。日々の学習活動においても、生徒自身が学びの主導権を握り、自走する学びの意識付けを行う。将来つまずいたりうまくいかなかったときに他人や社会のせいにししない強い人材を育成したい。成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないこと。失敗や恥ずかしさを恐れて挑戦しない、失敗をしないとわかっていることを安易に選ぶことは、生徒の自立の妨げになりかねないことを肝に銘じて日々接する。
	人権尊重の姿勢 民主主義と平和の大切さ	自分自身を傷つけない。相手を尊重して寄り添う心を醸成する。アンケートや日々の観察から早期発見を心がけ、生徒自身が解決できるようサポートする。対話による納得解の合意形成がなされるような空気作りを心掛ける。広島への修学旅行を通して、平和や合意形成、そして集団行動の大切さを学ぶ。
三学年	基本的生活習慣や集団の中での行動を通して社会人基礎力を養成する。	・授業や学年集会などを通して、時間厳守、身だしなみについて繰り返し指導する。公私の区別をつけ、自ら学習環境を整える姿勢を身に付けさせると共に、主体的に学習に取り組む習慣づけを行う。
	自ら考え、主体的かつ協働的に行動する力を養う。	・授業を通して、目的意識や課題を持ち、主体的に学習に取り組む姿勢や学習習慣の確立をする。また、学校行事や全校での販売実習により他者を尊重して活動する力を身につける。
	各自のライフプランについて考えさせ、進路意識を高め個々の進路実現に向け活動をする。	・進路ガイダンスや講演会等を有効に活用し、生徒がそれぞれの進路を具体化させるとともに、進路実現のための課題を考えさせる。また、積極的かつ主体的に活動できるよう支援をすすめていく。